

特集

SPECIAL ISSUE

人工膝関節置換術と人工股関節置換術について

MESSAGE

病院長のご挨拶

CONTENTS [目次]

・人工膝関節置換術と人工股関節置換術について

INFORMATION [インフォメーション]
全体朝礼を行いました



INFORMATION

全体朝礼を行いました

2024年11月1日、開院から12年が経ち、全体朝礼を行いました。
院長からの挨拶の後、長年の功績を労い永年勤続表彰式が行われました。
今後も地域の皆様のため、よりよい医療提供を目指して頑張ってまいります。



❗ 休日当番医のお知らせ 1/12(日)は休日当番医となっています。詳細は新聞等でご確認ください。

バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。
病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



バス時刻表

「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西		2 田尻橋北 ⇒ 柏原西	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時	[49]	6時	[49] [58]
7時	[27]	7時	[27] 42 [42]
8時	[23]	8時	[21]* [21]
9時	[07]*	9時	[05]* [03]*
10時	[07]*	10時	[05]* [04]*
11時	[07]*	11時	[05]* [04]*
12時	[07]*	12時	[05]* 04 *
13時	[07]*	13時	[05]* [04]*
14時		14時	[05]* [04]*
15時		15時	[05]* [05]*
16時		16時	[05]* [44] [05]* [52]
17時		17時	[21] [51] [52]
18時		18時	[31] [51] [51]

「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅		2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時		6時	[09] 55 [26]
7時		7時	[25] [07] [38]
8時		8時	[10] 28 [19] [57]
9時		9時	[04] [52] [52]
10時	[45]	10時	[47] [45]
11時	[45]	11時	[47] [45]
12時	[45]	12時	[47] 45
13時	[45]	13時	[47] [45]
14時	[45]	14時	[47] [45]
15時	[45]	15時	[47] [49] [45]
16時		16時	[26] [44] [56]
17時		17時	[02] [34]
18時		18時	[35] [34]

す：すずかけセントラル病院経由 水：浜松市総合水泳場行き 学：開校日のみ運行 南：浜松南高校登校日のみ運行
【】内は超低床/ノンステップ「オムニバス」運行予定(車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

編集後記

あけましておめでとうございます。新しい年が始まりましたね。
寒くなると乾燥してインフルエンザや新型コロナなどのウイルスに罹りやすくなります。予防接種を受ける、十分な睡眠と栄養を摂るなど、日頃からの体調管理を心掛けましょう。今年一年が皆様にとって素晴らしい年となりますように。





病院長 のご挨拶

MESSAGE

新年あけましておめでとう御座います。
新型コロナウイルス感染症が5類に以降して以来、感染者数も減少してまいりました。しかし、感染者がゼロになったわけではなく、今も時折陽性者が出ている現状です。
いつまた蔓延するかも分からず、当面の間は感染予防に対する注意と心掛けが必要かと思われます。当院においても、ご来院の皆様院内感染予防のためのマスク着用と手洗いをお願いしておりますので、引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。

当院の近況としては、泌尿器科に村田憲彦先生が新たに加わりました。村田先生は、日本泌尿器科学会専門医であり指導医の資格もお持ちです。20年ほど湘南鎌倉病院に勤務され、このたび出身地でもある浜松市に帰って来られました。泌尿器疾患全般を診療されますが、特に前立腺肥大や前立腺がんの手術治療にあたってくださいます。
栗田先生、服部先生に村田先生が加わり3名体制となった泌尿器科が、これまでも栗田先生を中心に数多くの治療が行われてきた前立腺治療の分野で、今後益々質の高い医療提供を行い、泌尿器疾患治療の発展に貢献していただけると確信しております。

併設の健康管理センターにおいても、日本人間ドック学会の定めた基本検診項目に準じた「人間ドック・ベーシックコース」を中心に、お一人お一人のご希望に添った幾つかのコースをご用意し、地域の皆様の「健康維持」と「病気の早期発見」のため、お役に立てるように努めております。

人間ドックの内容も、ベーシックコースを簡素化した「人間ドック・半日コース」や、胃カメラ・胸部CT検査まで受けることができる「スペシャルドック」、MRI検査を追加し細やかな診断とがんの早期発見を可能にした「プレミアムドック」、生活習慣病及びそれに伴う脳疾患検査の「脳ドック」、脳ドックに合わせて認知症予防と脳活性を兼ねた「脳活性・認知症予防ドック」など、多彩なコースをご用意しております。

女性のためのオプション検査として子宮がん検診や乳がん検診、その他各種がんのマーカー血液検査などオプション検査も自由に選ぶことができ、ご自分にあったコースやオプション検査の追加などの選択が可能です。

今後も当院の名前がある「すずかけの木」のように、この地域に根ざし、地域の皆様のためお役に立てる病院でありたいと、職員一同心より願っております。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

すずかけセントラル病院 病院長 横山 徹夫

特集

SPECIAL ISSUE

人工膝関節置換術と人工股関節置換術について

はじめに

二〇二三年四月より、すずかけセントラル病院整形外科に赴任いたしました小竹将允(こたけまさひつ)と申します。赴任してから、整形外科外来の診療を始め、手術では人工膝関節置換術と人工股関節置換術を主に行っています。

膝痛の有病率は32.7%(男性27.9%、女性35.1%)と言われており、腰痛に次いで多いと言われています。加齢やケガで傷んだ軟骨や半月板、靭帯損傷などの

終末期として変形性膝関節症があり、年齢と共に膝痛でお困りの方が増えていきます。膝痛で生活に影響がある場合は、飲み薬(痛み止め)やヒアルロン酸注射でまずは保存加療を行い、それでも生活に影響がある場合は、傷んだ骨の表面を人工の関節(インプラント)に取り替えることで膝の疼痛を軽減します。今回は、当院での手術加療の特徴をご紹介します。

人工膝関節置換術について

日本での人工膝関節置換術は年々増加しており、二〇一三年では約八万件以上行われています。この件数は十年前と比べて約四倍と、身近な手術となっております。ただ、手術をしても完全に疼痛が消えない場合や、膝の可動域(動く範囲)にある程度制限が出る方もいます。そのため、手術を行うそれぞれの病院で様々な工夫をし、痛みや軽減や病状の改善に努めています。当院では、手術加療の手段として人工膝関節置換術(TKA)と人工膝関節単置換術(UKA)を行っています。

人工膝関節全置換術(TKA)と人工膝関節単置換術(UKA)

TKAの特徴は、従来の機械の設計に合わせて垂直にまっすぐな膝を目標とする治療ではなく、靭帯への負担軽減や膝の動きのより良い改善を目標に、患者さん本来の膝の形を尊重するKinematic Alignment(KA)方式の考えを元に施行します。

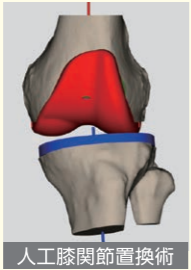
また当院では、内側または外側だけ取り替える「UKA」も積極的にを行っています。UKAと比較して骨を切る量が三分の一以下で済み、手術後の痛みも少なく社会復帰が早いこと、膝の可動域も良好なことが利点になります。ただ、この手術法は適応が限られ、手術の



コツが必要なことや置換していない側に疼痛が起り得ることなどの欠点もあります。

TKA(UKA)のどちらでも安全に手術加療を行えるように、患者さんのCTを使用し3Dモデルを作成して、適切なサイズのインプラントなのか、骨切り位置は正しいのかを確認すると共に、骨切りガイドを作成して安全でより正確な手術を目標に行います。どちらの手術が適応できるのかにもよりますが、患者さんの生活や希望に沿って一緒に選択していきます。

コツが必要なことや置換していない側に疼痛が起り得ることなどの欠点もあります。



人工膝関節置換術



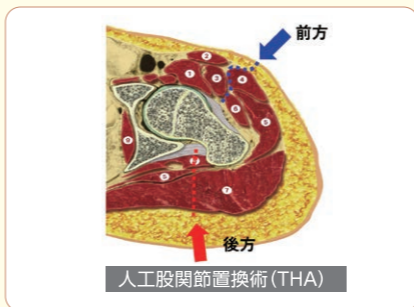
3Dプリンター

手術名	TKA	手術名	UKA
適応	60歳以上が基本	適応	骨壊死/高齢者/曲がる膝を求める
生存率	20年で90%	生存率	15年で94%(OxFord UKA)

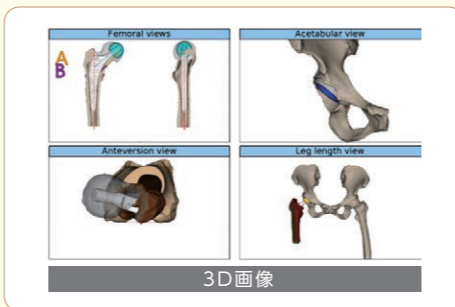
人工股関節置換術(THA)

変形性股関節症や特発性大腿骨頭壊死症のような病気によって股関節が変形します。「THA」は、軟骨がすり減り傷ついた部分を切除して、人工の機械の関節に置き換える手術療法です。人工股関節に置き換える

ことで、痛みをとり、動きをスムーズにし、安定した歩行を取り戻すことができます。従来は、後方から手術を行い、筋肉を切って手術していましたが、当院では手術の痛みの軽減や早期復帰を実現するため、前方から



人工股関節置換術(THA)



3D画像

のアプローチ(DAA)で行われます。DAAの特徴は、筋肉を切らずに行えること、手術後の人工関節の脱臼(外れること)が少ないことです。ただ、病状によってはできない場合もあり、適応をしっかりと見極めることが大切です。

また、牽引台を使用したAMISやSAFEと呼ばれる方法で、より安全に手術負担を減らす工夫をしています。さらに当院の特徴として、人工膝関節と同様に患者さんごとの形態に合わせてCTを使用し3Dモデルを作成・計画・手術を行っています。

最後に

患者さんの症状や病態はそれぞれです。現代の医療は日進月歩で、日々新しい治療法などが開発されていますが、それでも全てを解決できるわけではありません。どこを目標に何を優先するかが、治療にとって一番大切だと思っています。当院では、患者さんお一人お一人の症状や困りごとに合わせて、最適な治療は何かを患者さんと一緒に考えて行っています。

今後患者さんの円滑な社会生活のため、できるだけお力になれるように尽力してまいります。膝痛や股関節痛でお困りの方は、ぜひ一度当院にご相談ください。

